

## 麻生区区民会議 第5回専門部会 (仮称) 市民活動・絆づくり検討部会 議事要旨

1 開催日時：平成29年4月27日(木) 午後3時～午後5時

2 開催場所：麻生区役所第1会議室

3 出席者：[専門部会委員]

植木昌昭委員、海崎眞委員、佐藤昇平委員、佐野幸子委員、鈴木隆広委員、  
高橋慶子委員、松田通委員

(欠席) 緒方保委員、関根秀勝委員

[事務局] 企画課 安藤課長、福島係長、西倉、榎本 [コンサルタント] 中島、柳澤

4 傍聴者：0名

### 5 議 事

#### 1. 部会長・副部会長について

- ・事務局より部会長・副部会長について説明し、出席した委員全員の承認により、鈴木委員が部会長、高橋委員が副部会長として就任した。

#### 2. 調査・審議課題の検討について

##### (1) これまでの審議内容の振り返り

- ・『(仮称) 市民活動・絆づくり検討部会』におけるこれまでの審議内容を振り返った。

##### (2) 今後の検討内容・検討方法を考える

- ・コンサルより審議の方向性と今後の検討内容及び今後の審議スケジュールについての説明を行った。
- ・事務局より「麻生区市民活動団体検索サイト」の紹介を行った。

##### 1) 地域活動の担い手について

- ・第3回全体会議で地域活動の担い手と対象についての意見が出されたため、その点について意見交換が行われた。

#### 【決定事項】

- ・地域活動の担い手については現時点では限定せず、今後具体的な審議内容を決めていく中で決定することとなった。

#### 【主な意見】

- ・前提として「世代に関係なく」としているのので、「まずは」の部分を残し、強調したらどうか。
- ・「麻生区市民活動団体検索サイト」により麻生区の市民活動の状況がわかるようになった。対象を絞らず、こだわらなくても良いのではないか。
- ・シニア世代は、第5期で検討した。今の地域活動の場においては若い母親等が精力的である実感があるので、そちらにウェイトを置いてはどうか。

・現在は若い世代等、色々な世代が地域活動に参加している。このため世代を絞る必要はないのでは。

## 2) 具体的な審議内容について

- ・具体的な審議内容について意見交換が行われた。
- ・主に現実（リアル）での取組みとネット上の取組みの2種類の意見が出された。

### 【今後の方向性】

- ・主に市民活動団体が参加する「(仮称)市民フォーラム」の開催を検討する意見が出された。
- ・「麻生区市民活動団体検索サイト」の周知に関しての意見も多く出たが、具体的な方策については関連する団体に任せることとし、見守っていくようなイメージとした。

### 【主な意見】

- ・市民活動、地域活動を知る機会を得る仕組みづくりが大事だと思う。「麻生区市民活動団体検索サイト」の運営に関わる団体と協働して、データベースの紹介を行う。
- ・以前、7区持ち回りで開催されていた「市民自治創造・かわさきフォーラム」を、麻生区だけで開催したらどうか。その開催方法について区民会議で検討し、提言でまとめたらどうか。
- ・市民フォーラムは市民活動団体がアピールしやすい。また、団体同士の絆も生まれる。
- ・市民フォーラムを開催するには団体のニーズを把握する必要がある。
- ・麻生区には様々な地域活動団体があり、一概に市民フォーラムだけが周知に適しているとは言えないのではないか。
- ・地域包括ケアシステムでは、地域での互助の仕組みづくりが必要と言われているので、これに則ることも重要ではないだろうか。詰めていけば絆づくりに繋がる場所もある。
- ・普段活動に参加していない人に地域活動への参加を意識づけることが大事になっていくのでは。
- ・ある程度地域活動の意識がある人はクリアしている。無関心な人をどうするか。
- ・地域活動参加のハードルを下げるとはどうか。団体同士の絆づくりが重要かもしれないが、新しく参加する人へ、実際はハードルが低いことを知ってもらう必要がある。
- ・Facebook等のSNSによって、個人のつながりがアメーバのようにつながっていく。個人同士の絆をつなぐ活動にいかせるのではないかと。
- ・SNSでの発信は若者、子育て世代にもつながる。
- ・「麻生区市民活動団体検索サイト」の関連団体に調査し、結果を検証して、市民フォーラムの告知を行う、というように順々にやっていくのが良いのではないかと。
- ・市民フォーラムというとハードルが高く感じられるので、カフェ等の参加しやすい形や親しみやすい名前にしたほうが良いのではないかと。

## 3. その他

- ・部会名については、今後の審議と合わせて正式決定し、現状は「(仮称)市民活動・絆づくり検討部会」とすることとした。
- ・次回までに各委員は、他市町村や他区等での市民フォーラム等の情報を調べてくることとなった。

以上